

- (1) 奨学生願書
- (2) 奨学生推薦書
- (3) 在学証明書
- (4) 成績証明書等

※中学校最終学年の成績証明書、調査書、通知表等のいずれか（コピー可）。

- (5) 課題作文『私は、将来（50代・60代の時）どのような人として記憶されていたか。そのために、今、努力していることは何か。』
（添付の原稿用紙3～5枚（コピーして使用）に題名、学校名、氏名、ページ数を記載し、願書等と併せて提出のこと。）
- (6) 保護者の年間収入を証明する書類

※保護者の「源泉徴収票」「確定申告書（控）」「課税証明書」（収入のない場合は「非課税証明書」）「所得証明書」等の年間収入が分かる書類のいずれかのコピー。

5. 奨学生の選考及び決定

当基金は、前項により申請のあった者について、当基金に設けた学識経験者からなる運営委員会に諮った上、奨学生を決定し、令和3年8月中旬までに在籍する高校等の学校長を経て、本人に合否を通知する。

6. 課題図書 の 給付

当基金は、奨学支援のため奨学生に毎月、当基金の運営委員会の定める課題図書を給付し、奨学生は読書感想文を当基金に提出するものとする。

（課題図書の給付は、高校3年次7月まで）

7. 成績証明書、在学証明書（卒業証明書）及び近況報告書の提出

奨学生は毎学年終了後、成績証明書、在学証明書（卒業証明書）及び近況報告書を当基金に提出しなければならない。

8. 異動届出

奨学生は、次の各号の一つに該当する場合は、直ちに当基金に届け出なければならない。

- (1) 疾病その他の事故又は個人的事情により1ヶ月以上欠席する場合
- (2) 休学、復学、転学又は退学しようとする場合
- (3) 奨学生の住所又は奨学金振込金融機関等その他重要な事項に変更のあった場合